

3 . 河川における外来種の確認状況

多くの外来種が河川に定着し、その生息域が拡大。
 魚類ブルーギルやオオクチバス（ブラックバス）、陸上昆虫類のブタクサハムシが近年急速に生息域を拡大している。

外来種は、人間が意図的・非意図的に本来の生息域とは違うところに持ち込まれた種で、生物多様性を保全する上で最も大きな脅威の一つと考えられています。

下表に、主な外来種の確認河川数の推移を示しました。在来の魚類を捕食することで問題となっているブルーギルやオオクチバスをはじめとして、多くの外来種が定着し、生息域が拡大している傾向が見られます。

特に、陸上昆虫類のブタクサハムシは、全国的にも東北地方でも、急速に生息域が拡大している状況が伺えます。

表3 外来種の確認河川数の割合

調査項目	種和名	東北確認河川数の割合 (全国確認河川数の割合)		
		第1巡目 (H2~H7)	第2巡目 (H8~H12)	第3巡目 (H13~H15)
魚類	ブルーギル	1河川 (48河川)	3河川 (66河川)	4河川
	オオクチバス	4河川 (67河川)	10河川 (81河川)	11河川
	コクチバス	0河川 (0河川)	1河川 (3河川)	1河川
底生動物	アメリカザリガニ	8河川 (81河川)	10河川 (91河川)	10河川
鳥類	アヒル	2河川 (27河川)	5河川 (41河川)	6河川
両生類	ウシガエル	4河川 (89河川)	7河川 (92河川)	7河川
爬虫類	ミシシippアカミミガメ	0河川 (37河川)	4河川 (56河川)	4河川
陸上昆虫類等	ブタクサハムシ	0河川 (0河川)	1河川 (30河川)	4河川

対象河川：全国 109 水系 123 河川、東北 12 水系 12 河川